

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育方法論 (Educational Methodology)		
ナンバリングコード	K20107	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	教職関係科目 (必修) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K001601	クラス名	-
担当教員名	石橋 修、新谷 裕幸		
履修上の注意、履修条件	教職を志望しており、教職に魅力を感じ、教職に求められる役割を習得する意欲を有していること。教育に関する幅広い分野を学ぶので、新聞の教育記事などにも日常的に目を通す習慣をつけておくこと。出席カードの配布以外に、毎回提出のミニレポートや振り返りシートでも出欠のチェックをします。予習・復習課題も毎回提出を求められるので授業開始前と授業終了後の提出・受け取りを忘れないでください。		
教科書	授業内容に対応したプリント資料を作成・配布します。		
参考文献及び指定図書	平沢茂『教育の方法と技術』図書文化(2018) 文部科学省『教育の情報化に関する手引(追補版)』(2020)		
関連科目	教育原理、教育課程論等、教職に関する全科目		

○基本情報		
授業の目的	講義前半はこれからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を必要な、教育の方法及び教育の技術に関する基礎的な知識・技能を身に付けることを目的とし、講義後半は、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進のあり方並びに生徒に情報活用能力(情報モラルを含む。)を育成するための指導法に関する基礎的知識・技能を身に付けることを目的とした授業を展開していきます。	
授業の概要	本講義においては、教育効果を促進するための教育方法や技術について理解し、情報機器活用や教材作成への反映を期待する今日的要請を念頭に、教育方法についての学び、教育方法の歴史、教授理論、授業展開方法、学習指導や評価についての理解を促します。必要に応じ学習効果を高めるためのグループワークも実施します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関連する高等学校教員(昭和56年4月～昭和64年3月)として社会科科目を担当した実務経験をもとに実践的教育を行う。(石橋修)	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職の授業にふさわしい態度で、授業内容への興味関心を持ち、意欲的に学習できる。	10点	10点	
【知識・理解】	授業で扱う知識や事実について正確に理解し、自分なりの言葉で適切にまとめることができる。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学んだ内容に関しての質問に適切に応答し、感想記録にも知識・理解の内容を十分に表現できる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	学んだことを振り返り、意味づけや自分なりの考察ができる。	10点	10点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
毎回、講義終了後に講義内容に関連した予習課題と復習課題を配布し評価します。 また、ミニレポートや振り返りシート、リフレクションシートの記載内容や提出物の有無も考慮しながら、受講時の受講生仲間への配慮や、学びへの真摯さなど、教師として求められる資質について評価します。

○その他
授業に関連する質問や相談は、授業終了時と担当授業がない時間帯に研究室で受け付けます。また、不在時には研究室前の連絡板に伝言いただければ対応します。課題やレポートはチェック後に全体的な講評をしてフィードバックします。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	教育方法論（Educational Methodology） 石橋 修、新谷 裕幸	授業コード	K001601
学修内容					
1. オリエンテーション					
15回の授業計画についての説明し、15回の講義への見通しを明確にします。授業効果を図り、授業への動機づけ対応も考慮しながら、教育内容、教育方法、評価基準についても言及します。					
予習	教育方法とは何かに関連した予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
2. 教育方法とは何か					
教育の方法・技術に関わる諸概念についての基本理解を促し、教育方法全般に関わる概念や授業の準備に関わる基礎概念等についての理解を深めます。					
予習	アクティブラーニングに関連した予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
3. 主体的・対話的学びとは					
政策課題となったアクティブラーニングは、主体的・対話的で深い学びとしての意義が重要であり、一斉指導と個に応じた指導との関連においても理解が求められている。グループワークも導入しながら授業の構成要素としてのアクティブラーニングの問題についても理解を促していきます。					
予習	ソクラテス、コメニウス、ヘルバルトの教育方法論に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
4. 教育方法論の歴史的理解①(ソクラテス、コメニウス、ヘルバルト)					
教育方法の理論と歴史の観点から、問答法(ソクラテス)、事物の教育(コメニウス)、近代学校における教授法の実践者と理論(ヘルバルト)についての理解を深めます。					
予習	デューイ、キルパトリックの教育方法論に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
5. 教育方法論の歴史的理解②(デューイ、キルパトリック)					
教育方法の理論と歴史の観点から、新教育運動の教授理論(デューイ)、プロジェクト・メソッド(キルパトリック)に焦点を絞り、その教授理論について学びます。					
予習	教師に求められる授業スキルに関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
6. 学習指導の実際					
基本的な学習指導理論を踏まえながら、学習指導事例資料を提示し、学習指導の実際についての理解を促します。必要に応じ、映像による研究授業事例を基に、さらなる学習の定着を図ります。					
予習	学習指導案作成に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
7. 学習指導の方法を学ぶ					
学校の主要な役割である学習指導について、話法、板書、教科書活用などの基本的技術の理解を育み、基礎的学習指導理論の理解を深めます。					
予習	授業の教材研究に関連した予習課題プリントを次回までに作成してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間
8. 社会的背景を踏まえた情報化を考える					
社会における情報化の急速な進展と教育の情報化、学習指導要領の理念、学習指導要領における教育の情報化の位置付け、特別支援教育における教育の情報化、教育におけるICT活用の特性・強み及びその効果などについて学びます。					
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。				約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	教育方法論（Educational Methodology） 石橋 修、新谷 裕幸	授業コード	K001601
学修内容				
9. 実践的情報活用能力の育成				
これまでの情報活用能力の育成、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力、情報活用能力の育成のためのカリキュラム・マネジメント、学校における情報モラル教育などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
10. プログラミング教育の推進及び学習指導要領				
プログラミング教育の必要性及びその充実、学習指導要領における教育の情報化に関する主な記述などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
11. 教科等の指導におけるICTの活用の実際				
教科等の指導におけるICT活用の意義とその必要性、ICTを効果的に活用した学習場面の分類例、各教科等におけるICTを活用した教育の充実、特別支援教育におけるICTの活用などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
12. 校務の情報化推進の動向を学ぶ				
校務の情報化の目的、統合型校務支援システムの導入、校務の情報化の進め方、特別支援教育における校務の情報化などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
13. ICT活用指導力等の向上				
教師に求められるICT活用指導力等、教師の研修、教師の養成・採用等などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
14. 学校におけるICT環境整備				
ICT環境整備の在り方、デジタル教科書やデジタル教材等、遠隔教育の推進、先端技術の導入、教育情報セキュリティ、ICT活用における健康面への配慮などについて学びます。				
予習	テキストから次回学習のキーワード5～10個をプリントに記述してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
15. 教育の情報化に関する推進体制				
教育委員会及び学校の管理職のマネジメント、校務分掌上の情報担当者の役割、学級担任・教科担任としての日常的業務、ICT支援員をはじめとした外部人材などの外部資源の活用などについて学びます。				
予習	試験対策を含め学修事項を整理してください。			約2時間
復習	本時で取り上げた事項についての復習課題プリントをまとめる作業をしてください。			約2時間
16. 学期末試験				
15回分の講義内容について試験を行います。				
予習				
復習				